

2008年12月18日

タイ国 PTT 社との化学事業コラボレーションについて

宇部興産株式会社

宇部興産株式会社（社長：田村浩章）と、タイ国において天然ガス、石油精製、石油化学などの事業を展開する PTT Public Company Limited（社長：Prasert Bunsumpun。以下「PTT 社」）とは、カプロラクタム、合成ゴムなど化学事業についてタイ国における共同事業化を検討することを決定、このほど両社間で覚書を締結しました。

宇部興産は、1993-95 年にカプロラクタム・ナイロン・合成ゴムの製造販売会社を設立、現在では宇部興産の化学事業にとって、重要な子会社群に成長しています。

2005 年には R&D センターを設立、ナイロン・合成ゴムの開発業務も開始しました。また、ファインケミカル事業（1.6 ヘキサジオール）への投資についても積極的に検討しています。宇部興産にとってタイは、今後とも積極的な拡大投資を行っていく重要な戦略拠点です。

PTT 社は、1978 年にタイ工業省傘下に設立された政府全額出資の国営企業を前身とし、2001 年に上場、現在の社名となりました。タイにおける最大の民間会社であり、天然ガス・石油関連を主なビジネスとし、2007 年の連結売上高は 1.4 兆バーツ（約 5.7 兆円）。

天然ガス開発（PTT Exploration and Production Public Co., Ltd.）、芳香族系石油化学及び石油精製（PTT Aromatics and Refining Public Co., Ltd.）、オレフィン系石油化学（PTT Chemical Public Co., Ltd.）などの事業を、関連会社を通じて展開しています。

豊富な化学原料を持つ PTT 社は、川下製品への進出によりチェーンの強化を図っており、化学製品をグローバルに生産販売している宇部興産との提携は、原料の確実な確保とタイでのさらなる事業拡大を行いたい宇部興産のニーズと一致し、検討を進めることになりました。宇部興産が既にタイに生産拠点を持つカプロラクタム・ナイロン・合成ゴムに限らず、幅広い化学事業を対象としてタイでの事業化の検討を両社で行います。



（宇部興産 東京本社で行われた調印式。）

左：PTT社 プラヤ（Prajya Phinyawat）COO

右：宇部興産 化成系・樹脂カンパニー 高橋信行カンパニープレジデント

【会社概要】

■PTT Public Company Limited

設立：2001年10月
所在地：(本社) タイ王国バンコク市
代表：プラサート ブンサムパン (CEO & President)
従業員数：3,288 (2007年12月末現在)
資本金：28,174百万バーツ
主な事業内容：天然ガス関連、石油精製、石油石化製品販売

■宇部興産のタイ3拠点

○Thai Caprolactam Public Company Limited

設立：1990年12月(宇部興産の出資は1993年10月)
所在地：(本社) タイ王国バンコク市(工場) タイ王国ラヨン県
代表：チャルニア ピチットクン (Charunya Phichitkul) (宇部興産 常務執行役員)
従業員数：411人(2008年6月末現在)
資本金：8,576百万バーツ
出資比率：宇部興産 91%、丸紅グループ 7%、その他 2%
主な事業内容：カプロラクタム、硫安の製造・販売
生産能力：カプロラクタム 110千t/年、硫安 460千t/年

○UBE Nylon (Thailand) Limited

設立：1995年6月
所在地：(本社) タイ王国バンコク市(工場) タイ王国ラヨン県
代表：チャルニア ピチットクン (Charunya Phichitkul) (宇部興産 常務執行役員)
従業員数：82人(2008年6月末現在)
資本金：228百万バーツ
出資比率：宇部興産 100%
主な事業内容：ナイロン6の製造・販売
生産能力：ナイロン6 25千t/年

○Thai Synthetic Rubbers Company Limited

設立：1995年11月
所在地：(本社) タイ王国バンコク市(工場) タイ王国ラヨン県
代表：チャルニア ピチットクン (Charunya Phichitkul) (宇部興産 常務執行役員)
従業員数：91人(2008年6月末現在)
資本金：1,106百万バーツ
出資比率：宇部興産 73.1%、T S R C (台湾) 13%、丸紅 13%、その他 0.9%
主な事業内容：ポリブタジエンの製造・販売
生産能力：ポリブタジエン 72千t/年

以上